

ふれあい、新聞

春号



「かみさの梅 今年も綺麗に咲きました」

発行日 平成 26 年 4 月 1 日 第 53 号
発 行 社会福祉法人 瑞穂会
ふれあい新聞編集部
本 部 〒 4 4 4 - 0 9 3 6
岡崎市上佐々木町字大官 49 番地
TEL (0564) 3 4 - 3 6 6 6
FAX (0564) 3 4 - 2 3 4

「最大の利益より最高の信頼」

特別養護老人ホーム やはぎ苑

施設長 近藤 静子

今年もやはぎ苑は、それぞれの事業所が26年度の事業計画（年度目標）を作成し、さらに事業所の職員それぞれが、新年度に向けて、自分の行動指針をたてられる様に後方から支援しています。

新年度を迎えるにあたり、介護保険施設の指定を受けているそれぞれの事業所が、介護保険の浸透と変化に対応するためにやるべきことは何か？と改めて問えば、それは

「凡事を極めれば非凡になる」

という答えに行きつくのではないのでしょうか。言い換えるなら介護に携わっている私達一人一人が、それぞれ与えられた持場で「当たり前前」のことが当たり前前に出来る「職員にならなければならぬ」ということだと思います。

昨今、介護業界は成長産業としてとりあげられ、新規参入する企業も多く競争も出始めてきています。その中には大変残念なことですが、企業の利益を重視するあまりに、不正を犯して指定を取消される事業所も増えつつあります。しかしながら、介護を必要とする人はまだまだ増加傾向にあり、今後増々競争が激しくなることが予想され、企業のコンプライアンスが厳しく問われるところであります。

申込をされているご家族の方から、電話で待機状況のお問い合わせを頂いたり、なかには直接来苑され、「まだ順番は来ませんか？」と涙ながらに現状を話されるかたも見えます。それにもかかわらず、ご家族の方に対して出来ることは、お話を聞いて差し上げる事ぐらいいしかできず、とても辛く言葉に詰まってしまう事もあります。

「国民には安心の介護を 職員には待遇の改善を」と介護の社会化を目指した制度だったはずの介護保険は、いつのまにか改正を繰り返す度に削られ利用しにくい制度に代わってきています。

さらに、厚労省は、2015年の介護保険制度の改定では、より強くかじ取りを「施設」から「在宅」へ移そうとしています。要支援者を介護保険から外し、特養の入所条件を介護度3以上に限定し、所得に応じて利用者の負担割合をあげるなどが主な改定ですが、この改定で一番言いたいことは、スキルアップした職員に対し、給与の改善が出来るだけの介護報酬の引き上げを切に望みます。そのためには専門職として、「基本を知り・基本に学び・基本の活用」が忠実に出来るような職員教育を行い、毎日「笑顔で・元気な声で・頭は低く」の志で、最高の信頼が得られる施設を目指していきたいと思っています。

4月1日 辞令交付



平成二十六年年度に向けて

特別養護老人ホーム くわがい

施設長 手嶋寛人

今後の介護経営は、今以上に厳しさを増すこととなります。

「軽度者の特別養護老人ホーム入所制限」、「要支援者への通所介護・訪問介護を介護保険制度から地域支援事業に移行」、「一定以上所得者の利用者負担の見直し」、「補足給付の見直し(資産等の勘案)」等、社会保障費抑制のための方針が強く示された介護保険法改正案が平成27年4月からの実施を目指し今国会に提出されました。

また、ケアマネジメントについても「地域ケア会議」の制度化を通じて、自立支援型ケアマネジメントを推進する方向で議論が進んでいます。こうした動きに伴い今後は、生活援助を中心とするいわゆる「お世話型サービス」の訪問介護、「預かり機能型」の通所介護等の利用割合が下がり、重度化予防に効果のあるリハビリ系サービスや訪問看護などの医療系サービスのウエイトが上がっていく可能性が十分考えられ、財政難を背景とした給付と負担の見直しや自立支援型サービスの拡大が現実のものとなれば、介護経営に多大な影響を及ぼすのは確かです。

さらに、本年4月に8%、翌27年10月には10%と段階的に引き上げられる消費税については、平成26年度の介護報酬改定で、増税対策として基本単位数に平均0.63%上乘せされましたが、食費及び居住費の基準費用額は据え置かれる等、増税分を補てんするには程遠い改定率で、法人が行う事業がご利用者に増税分を転嫁できない非課税事業ということもあり事業者が負担せざるを得ません。

このような状況下、社会福祉法人瑞穂会は平成26年度を介護保険法改正・介護報酬改定に関する施策と消費税増税第二弾が一挙に実施され、岡崎市第6期老人福祉計画もスタートする平成27年度に向けての準備期間とし、25年度に引き続き

- 1 将来の事業展開、大規模修繕等に備えるための適正な内部留保の確保
 - 2 法人経営における戦略の中心である人材の確保・育成
 - 3 魅力ある職場・やりがいの持てる施設にするための労働環境の整備
- の3点を重点目標に掲げ、ご利用者の皆さんには一定の品質同じサービスを将来にわたり安定的に継続して提供し続けることができよう、職員の皆さんには生涯設計が可能な職場となるよう、法人にとっては財務基盤の確立を目指して全力を挙げてまい進します。

平成26年度



message

- ① 天野 陽介 (あまの ようすけ)
- ② やはぎ苑 介護職員
- ③ 音楽を聴くこと
- ④ 1年間、体調を崩すことなく働きたいです。



POST CARD

message

- ① 名前
- ② 勤務先
- ③ 趣味・特技
- ④ 今後の抱負



message

- ① 加藤 恵 (かとう めぐみ)
- ② 第二やはぎ苑 介護職員
- ③ ソフトボール
- ④ 入所者の皆さんと仲良くふれあう！



message

- ① 唐木 綾菜 (からき あやな)
- ② かみさの家 介護職員
- ③ バasketボール・料理
- ④ どんなときでも

笑顔 !



新入職員紹介



message

- ① 上野 史奈 (うへの ふみな)
- ② やはぎ苑 介護職員
- ③ 風景を撮ること
- ④ 遅刻をしない
少しでも多くのことを学び、今後
に生かしていきたいです。



message

- ① 伊藤 実香 (いとう みか)
- ② 第二やはぎ苑 介護職員
- ③ 料理をすること
- ④ いつも笑顔で明るく頑張りたいです。



message

- ① 土屋 紋美 (つちや あやみ)
- ② やはぎ苑 調理員
- ③ 音楽鑑賞・ボルダリングをしたり
冬にはボードもします。
- ④ 調理員として一人ひとりにあった
食事をつくり、同期と仲良く・厨房
の皆さんと協力して頑張ります。



新入職員紹介



message

- ① 三浦 千晴 (みうら ちはる)
- ② くわがい 介護職員
- ③ お菓子作り
- ④ 利用者の方に安心していただける介護士を目指して精一杯頑張りたいと思います。



message

- ① 古林 直人 (こばやし なおと)
- ② くわがい 介護職員
- ③ バイクや車の運転が得意です。
- ④ 1日も早く現場に出て、戦力になりたいと思うので、よろしくお祈いします。



message

- ① 宮内 唯衣花 (みやうち ゆいか)
- ② くわがい 業務職員
- ③ ランニング (速く走れること)
- ④ どの仕事でも、覚えながら一生懸命仕事をして、笑顔で利用者にかかけられるように努力しながら頑張りますのでよろしくお祈いします。



message

- ① 佐藤 緑 (さとう みどり)
- ② くわがい 介護職員
- ③ 読書・料理・ピアノを弾く・聴く
- ④ 経験不足ではありますが、人を支える介護とは何か常に考えながら勉強させていただきます。今後とも、よろしくお祈いします。



やはぎ苑・グループホーム・第二やはぎ苑

2014年度 報酬改定による利用者負担額新旧差額(目安)と利用限度額(区分支給限度額)の引き上げ

1 利用限度額の引き上げ

	現行(単位)	改定後(単位)	上乗せ分(単位)
要支援1	4,970	5,003	33
要支援2	10,400	10,473	73
介護度1	16,580	16,692	112
介護度2	19,480	19,616	136
介護度3	26,750	26,931	181
介護度4	30,600	30,806	206
介護度5	35,830	36,065	235

2 特別養護老人ホーム やはぎ苑 利用者負担額 新・旧差額表

利用者負担金 月額 新・旧差額表 (1か月) (1か月=30日)

	新利用者負担	旧利用者負担	居住費(320)	食費(1,390)	新利用者負担(円)	旧利用者負担(円)	差額(円)
介護度1	21,359	21,235	9,600	41,400	72,359	72,235	124
介護度2	23,511	23,386	9,600	41,400	74,511	74,386	125
介護度3	25,756	25,600	9,600	41,400	76,756	76,600	156
介護度4	27,907	27,752	9,600	41,400	78,907	78,752	155
介護度5	30,027	29,872	9,600	41,400	81,027	80,872	155

差額=新-旧

3 ショートステイ 利用者負担額 新・旧差額表

(例) 利用者様が3日利用した場合の利用者負担金の新・旧差額

	旧利用者負担(円)	新利用者負担(円)	差額(新-旧)	旧利用者負担(円)	新利用者負担(円)	差額(新-旧)
	送迎なし	送迎なし		送迎あり	送迎あり	
要支援1	5,845	5,854	9	6,227	6,237	10
要支援2	6,204	6,213	9	6,586	6,596	10
介護度1	6,457	6,469	12	6,839	6,851	12
介護度2	6,672	6,684	12	7,054	7,066	12
介護度3	6,893	6,905	12	7,275	7,288	13
介護度4	7,108	7,124	16	7,490	7,506	16
介護度5	7,319	7,336	17	7,703	7,718	15

4 デイサービス 利用者負担額 新・旧差額表

介護予防通所介護 (1か月)

	旧 給付単位数	旧 利用者負担(円)①	新 給付単位数	新 利用者負担(円)②	差額(円)②-①
要支援1	2,290	2,322	2,306	2,339	17
要支援2	4,485	4,548	4,516	4,580	32

通所介護 所要時間7時間以上9時間未満の場合 (1日)

	旧 給付単位数	旧 利用者負担(円)①	新 給付単位数	新 利用者負担(円)②	差額(円)②-①
介護度1	766	777	771	782	5
介護度2	890	903	896	909	6
介護度3	1,018	1,033	1,025	1,040	7
介護度4	1,146	1,162	1,155	1,172	10
介護度5	1,274	1,292	1,283	1,301	9

5 グループホーム 利用者負担額 新・旧差額表

利用者負担金 月額 新・旧差額表 (1か月=30日)

	新利用者負担(円)	旧利用者負担(円)	居住費(1,380円)	食費(1,836円)	新利用者負担(円)	旧利用者負担(円)	差額(円)
介護度1	26,455	26,360	41,700	49,080	117,235	117,140	95
介護度2	27,656	27,561	41,700	49,080	118,436	118,341	95
介護度3	28,446	28,351	41,700	49,080	119,226	119,131	95
介護度4	28,984	28,888	41,700	49,080	119,764	119,668	96
介護度5	29,552	29,426	41,700	49,080	120,332	120,206	126

差額=新-旧

6 小規模特別養護老人ホーム 第二やはぎ苑 利用者負担額 新・旧差額表

利用者負担金 月額 新・旧差額表 (1か月) (1か月=30日)

	新利用者負担	旧利用者負担	居住費(1,970)	食費(1,380)	新利用者負担(円)	旧利用者負担(円)	差額(円)
介護度1	23,791	23,698	59,100	41,400	124,291	124,198	93
介護度2	26,005	25,881	59,100	41,400	126,505	126,381	124
介護度3	28,281	28,156	59,100	41,400	128,781	128,656	125
介護度4	30,464	30,339	59,100	41,400	130,964	130,839	125
介護度5	32,646	32,491	59,100	41,400	133,146	132,991	155

差額=新-旧

7 小規模多機能居宅介護 利用者負担額 新・旧差額表 (1か月)

	旧 給付単位数	旧 利用者負担(円)①	新 給付単位数	新 利用者負担(円)②	差額(円)②-①
要支援1	5,178	5,266	5,208	5,297	31
要支援2	8,852	9,003	8,906	9,058	55
介護度1	13,369	13,597	13,447	13,676	79
介護度2	18,469	18,783	18,581	18,897	114
介護度3	25,723	26,161	25,882	26,322	161
介護度4	28,131	28,610	28,306	28,788	178
介護度5	30,760	31,283	30,953	31,480	197

今年度の反省と来年度に向けて

介護主任 岡田進太郎

私たちくわがいの介護職員は平成25年度、1年間の目標として『介護技術の向上』『認知症の理解』『24時間シートの充実』の3本柱を中心に日々の介護に取り組んできました。取り組み結果と来年度の目標をご報告させていただきます。

い が わ

『介護技術の向上』について

くわがいで生活をされてみえる入居者様お一人お一人が安全で穏やかな毎を送れるように、『食事』、『排泄』『入浴』を中心に介助方法の基本を見直す機会を設け、職員個々に指導してまいりました。また、くわがいの取り組みでもあります『生活リハビリ』においても、入居者様

の現有能力を把握し、できる限り力を使って頂けるよ

うな支援方法を考えました。その結果、生活に必要な

環境を整えることができ、現有能力を活かした介助を

行うことができるようになってきました。しかし、短期

間での技術の習得は難しく、まだまだ入居者様にはこ

迷惑をおかけすることもあります。

今年度は、介護職員のケアを統一できるように勉強

会、スタッフミーティングにて介護技術を学び、介護事

故の減少に繋がりたいと思います。



～外部講師を招いて勉強会～
(認知症について)



『認知症の理解』について

25年度は認知症の方に効果的と言われている『回想法』に取り組んでまいりました。はじめは話の内容も乏しく、円滑に進めることができませんでした。定期開催することによって入居者様には昔を思い出してもらえ、生き活きとした表情を窺うこともできました。また外部講師を招き、認知症の基礎知識や関わり方など擬似体験を交えながら学ぶことで、認知症の方の思いや不安を感じることができ、職員の対応の見直しに役立てることができました。

今年度は『回想法』の開催を定着させ、回想法から入居者様の変化に気付き、状態に伴った支援ができるように心掛けていきたいと思えます。さらには、認知症

の勉強会を開催し、知識や理解を深めていこうと考えています。

『24時間シートの充実』について

入居者様お一人お一人が、『自分らしい生活』を送れるように24時間シートを作成しております。今年度はそのシートの内容をより充実させようと、正規職員を中心に24時間シートの基礎知識から活用に至るまでを学びました。現状ではまだまだ活用できる状態ではありませんが、今年度は24時間シート委員会を立ち上げ、24時間シートの浸透はもちろんのこと、内容を充実させて、少しでも入居者様が満足できる生活を送って頂けるように更なる知識を身に付けていこうと考えています。

グループホーム かみさの家

かみさの家では年度毎に目標を立て、生活の質の向上を目指しています。今回は前年度の目標、取り組みを振り返りたいと思います。

災害対策

毎月1回、地震、火災等を想定した日中及び夜間想定避難誘導訓練を実施し、学区の防災訓練にも参加。地域避難者の受け入れ先として運営推進会議のメンバーが避難者となり模擬避難訓練を実施し、消火訓練や炊き出しと非常食の試食も一緒に体験しました。今後は災害時に地域の協力体制への連絡が整えていきたいと思っています。



交流会

ご家族来訪時の聴き取りや年3回の家族会でご家族同士での意見交換会にてイベントが企画され、食事会が催されました。ぽかぽかはバーベキュー、萌はバイキングを行い、どちらのユニットも大盛況でした。ご家族と職員、ご家族間の交流も深まり、その後提案された憩いの場所作りを準備から完成まで利用者、ご家族、職員で造り上げていきたいと思っています。



理念の共有

かみさの家の理念である「ゆっくり、楽しく、普通の生活を」。利用者が中心となって自分のやりたいことを自分のペースで行い、職員も楽しくをモットーに日常のケアで理念を実践しました。今後は理念を展開した目標（年度又は月次）を掲げて取り組んでいきたいと思っています。

小規模多機能やはぎ苑



今年の冬は本当に雪の日が多かったです。その為、お迎えに伺えない日もあり、ご迷惑をおかけしました。

現在 18 名の方に登録して頂いていますが、今後も自宅での生活が続けられるよう、通い・泊まり・訪問支援により地域での暮らしのお手伝いをさせて頂ければと思います。また第2やはぎ苑の様子や取り組みは瑞穂会スタッフブログにて確認する事ができます。興味のある方はぜひ <http://blog.livedoor.jp/mizuhokaiblog/> をご覧の上、内容等に関してご意見・ご要望等をお寄せ頂けるとブログ担当者の励みになります。

一月



初詣・おやつ作り
カラオケ・習字 などなど



二月

動物介在活動・節分・梅見
たこ焼き作り などなど



三月



河津桜見・矢北小 5 年生来苑
メイクボランティア慰問
などなど



認知症予防

「予防できる病」へアルツハイマー病

国立長寿医療センター（愛知県大府市）が開発した運動プログラム

有酸素運動をしながら、脳に負荷をかけるプログラムです。

【1】 歩きながら引き算をする。

はじめは、例えば110から3ずつ引く引き算をしながらウォーキングをします。慣れて来たら7ずつ引くようにしたり、6と8を順番に引いたりして難しくしていきます。ウォーキングは10分程度、息が上がる程度の速さです。

【2】 踏み台昇降をしながら、「脳を使う」

ステップ台を使い踏み台昇降をします。その時同時に脳を使います。

※1人で行う場合は、計算をしたり、野菜の名前をあげてりして脳を刺激します。

※2人以上で行う場合は、しりとりなど2人で出来ることをしましょう。（単純なしりとりで慣れたら、2つ前の単語まで憶えて復唱するしりとりもあります。）

例 「りんご・ゴリラ・ラツパ」「ゴリラ・ラツパ・パイヤ」「ラツパ・パイヤ・ヤギ」

慣れてきたら、運動の強度は「楽」から「ややきつい」で、いずれも「運動」と「脳に負荷を掛ける課題」を同時に行うことがポイントです。

軽度認知障害の人を対象、1年間プログラムを実施してもらったところ、記憶力の向上や海馬の委縮を改善する効果が得られました。しかしながら、まだ研究段階ですので一般向けには行われていませんが、近い将来一般向けにも行われることでしょう。

アルツハイマー病が発症するまでに25年もの年月がかかることが明らかになり、症状が始める前から意識して予防することが大切で、運動不足や睡眠不足の解消も効果を発揮することもわかってきました。

「ありがとうございました」

（寄付・寄贈（報二十六年一月〜報二十六年三月）

* 神谷 好政 様

* 畔柳 久子 様

* 匿名希望 様

* 松井 美千子 様

編集後記

「Let It Go」ありのままで」

2014年 第86回アカデミー賞に輝いた「アナと雪の女王」がこの春、日本でも大ヒットしていますが、この主題歌「Let It Go」ありのままで」もアカデミー賞を獲得したことで大変ヒットしています。

ある宗教家のお言葉をお借りすれば、仏教の教えの一つに「縁起の法」がありますが、人はつい、自分の思いや努力、才能によって、人生が成り立っているかのように思いがちです。しかし、自分の思いや努力、才能によって、成り立っているものは何一つなく、生きているのではなく、生かされているということが「縁起の法」の本当の意味であり、言い換えるならば、さまざまな悩み・苦しみは、私たち自身の中にある狭い価値観や好き嫌いの感情によって生まれてくると言えるのではないのでしょうか。

「自分の思うような人であれば受け入れる。受け入れるということは、そういう人は好きである、と。」

自分の思うような人でなければ受け入れられない。そういう人は嫌いである、と。こうした選び方をしていく限り私たちは苦悩から抜け出せることはできない。」というのが仏さまの教えです。

4月から新たに仲間となる職員皆さん、これからいろいろな悩みや困難に直面すると思いますが、日常の中で大事なことは、物事を好き嫌いで分ける訓練でなく、すべてを「ありのままに」受け入れる訓練をすることが大切であり、そうすることで、苦悩がなくなっていくますよ、と教えてくださっているのだそうです。

「ありのままに」受け入れることは、簡単なことではないですが、新職員と一緒に、私たちが努力しなければならぬと改めて再確認して、26年度を迎えます。